

議題 3

平成 26 年度の取組目標（案）について

1 平成 25 年度の取組結果について

(1) 取組結果（実績値）について 表 1 参照

- ・平成 26 年度の取組目標は、25 年度の取組結果（実績値）を踏まえて年度当初に設定しなければならないが、下半期の取組結果が 6 月末まで確定しないことから、上半期の取組結果等を踏まえた推計により 25 年度の取組結果を把握し、26 年度の目標設定の根拠とする。
- ・平成 25 年度の取組結果は、平成 25 年度上半期の取組結果に、直近の結果である平成 24 年度下半期の取組結果を合計した値により推計する。

(2) 評価（仮）

- ・10 の取組項目のうち、電気使用量の削減等 3 項目は目標を達成する見込みであるが、ガソリン使用量の削減等 7 項目は未達成となる見込みである。
- ・平成 25 年度は、取組目標について、前年度に目標を達成できなかった項目についてはその確実な達成を、達成できた項目についてはその実績値以上とする積極的な目標設定を行ったことから、結果として例年に比べ未達成となった項目が多くなっている。
- ・ガソリン使用量の削減、コピー用紙使用量の削減等未達成となる項目が固定化しており、これらについて徹底した原因の究明及び原因に基づいた抜本的な対策を実施する必要がある。

(未達成項目について)

②都市ガス, ③水道, ⑤一般廃棄物

平成 25 年度は、24 年度より使用量がやや増加し未達成となる見込みであるが、近年概ね減少傾向であることから、これまでの取組を引き続き確実に実施していく必要がある。

④ガソリン

基準年度である 22 年度を底に毎年度使用量が増加し未達成の状態が続いている。改めて公共交通機関の積極的な利用及びエコドライブの取組の徹底を図るとともに、中長期的には公用車の更なるエコカー化を推進する必要がある。

⑥コピー用紙

近年、使用量が増加しており、平成 25 年度は過去 10 年間で最も多いレベルとなる見込みである。裏面利用等のこれまでの取組について改めて徹底を図るほか、使用量削減のための抜本的な対策について検討を行う必要がある。

⑦消耗品, ⑧備品

平成 25 年度は 24 年度に引き続き未達成となる見込みであるが、25 年度上半期実績値は 24 年度実績値より上昇している（消耗品：76%→79%、備品：86%→99%）ことから、これまでの取組を引き続き確実に実施していく必要がある。

2 平成26年度の取組目標（案）について

平成26年度の取組目標は、平成25年度の取組結果を踏まえ、表1のとおりとする。

表1 平成26年度取組目標（案）及び平成25年度取組結果

（削減率の基準年度はすべて平成22年度）

項 目	平成26年度	平成25年度		
	目標値	目標値	実績値 (推計)	評価 (仮)
① 電気使用量の削減	14.7%削減* (15,366,507 kWh)	12.5%削減 (15,771,827 kWh)	14.7%削減 (15,366,507 kWh)	○
② 都市ガス使用量の削減	平成25年度目標値 の維持	15.3%削減 (889,209 m ³)	13.4%削減 (915,693 m ³)	×
③ 水道使用量の削減		17.9%削減 (93,924 m ³)	16.4%削減 (95,615 m ³)	×
④ ガソリン使用量の削減		2%削減 (182,015 リットル)	9.1%増加 (202,640 リットル)	×
⑤ 一般廃棄物排出量の削減		14.6%削減 (148,690 kg)	9.8%削減 (157,111 kg)	×
⑥ コピー用紙消費量の削減		1%削減 (366,109 kg)	7.7%増加 (398,323 kg)	×
グリーン 調達の推進		⑦ 消耗品	環境対応品の購入率 85%以上	環境対応品の購入率 80%
	⑧ 備 品	環境対応品の購入率 95%以上	環境対応品の購入率 90%	×
資源物の分別回収 及び排出量の削減	⑨ 古 紙	6.6%削減 (584,898 kg)	1%削減 (619,967 kg)	○
	⑩ その他資源物	18.9%削減 (54,460 kg)	16.5%削減 (56,072 kg)	○

* 節電対策が実施される期間については、節電目標に従うものとする。

(目標設定の考え方)

平成26年度の取組目標は、平成25年度の取組目標の設定における考え方に基づいて設定する。 表2参照

①電気

高いレベルの取組の結果、既に京都市役所CO₂削減率先実行計画に掲げる最終目標値を達成できており、かつ、平成25年度実績値についても平成25年度目標値を達成できる見込みであることから、平成26年度の目標値は平成25年度実績値以上とする。

②都市ガス、③水道、④ガソリン

平成25年度実績値が目標値を達成できない見込みであることから、平成26年度の目標値は平成25年度目標値と同一とし、その確実な達成を目指すとともに、中長期的には京都市役所CO₂削減率先実行計画に掲げる最終目標値^{*}を目指す。

^{*} 水道については同計画が対象とする項目ではないが、これに準じて設定する。

⑤一般廃棄物、⑥コピー用紙、グリーン調達 (⑦消耗品、⑧備品)

平成25年度実績値が目標値を達成できない見込みであることから、平成26年度の目標値は平成25年度目標値と同一とし、その確実な達成を目指す。

⑨古紙、⑩その他資源物

平成25年度実績値が目標値を達成できる見込みであるが、今後より一層の取組を推進する必要があることから、平成26年度目標値は平成25年度実績+1ポイントの削減とする。

表2 取組目標の設定における考え方

	京都市役所CO ₂ 削減率先実行計画に掲げる項目 (電気, 都市ガス, 水道, ガソリン)		左以外の項目 (一般廃棄物, コピー用紙, 消耗品, 備品, 古紙, その他資源物)
	最終目標値 [*] 達成	最終目標値 [*] 未達成	
前年度の実績値が目標値を達成	前年度の実績値以上 (電気)	最終目標値 (該当項目なし)	前年度の実績値+1% (古紙, その他資源物)
前年度の実績値が目標値を未達成	前年度の目標値を維持 ※中長期的には最終目標値を目指す (都市ガス, 水道, ガソリン)		前年度の目標値を維持 (一般廃棄物, コピー用紙, 消耗品, 備品)

^{*} 京都市役所CO₂削減率先実行計画に掲げる最終目標値
平成22年度比9.5%削減 (平成32年度)